

一部の血小板製剤の形態変更についてのお知らせ

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は日本赤十字社の血液事業に格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、成分採血由来血小板製剤は、平成16年10月25日採血分より保存前の白血球除去を実施しており、血小板製剤の品質を管理するため定期的に抜取試験を行い、残存白血球数が基準に適合していることを確認しています。

今般、抜取試験のサンプリングをより適切に行うため、一部のバッグについてスパイクレセプター(ピールタブ)の1本がサンプルバルブに変更となります。これに伴い、血液センターより供給される一部の血小板製剤の形態が下記のとおり変更されますのでご案内申し上げます。

なお、他のバッグの形態については変更の予定はありません。

今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

謹白

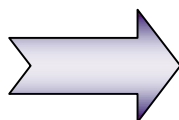
記

1. 対象製剤：一部の血小板製剤
2. 変更内容：スパイクレセプター(ピールタブ)が2本から1本へ変更されます。
下記の写真を参照ください。
3. 変更時期：平成17年4月下旬より順次供給されます。
*平成17年4月下旬以降はスパイクレセプター(ピールタブ)1本の血小板製剤が混在することになります。
4. お問い合わせ：最寄りの赤十字血液センター医薬情報担当者へお願いいたします。

一部の血小板製剤について、スパイクレセプター(ピールタブ)が2本から1本へ変更されます。



【変更前】



【変更後】